

日本計量新報

計測と科学

毎週日曜発行

日本計量新報社

東京都千代田区神田錦町3-11-8 (武蔵野ビル)

〒101-0054 TEL 03-3295-7871 FAX 03-3295-7874

http://www.keiryu-keisoku.co.jp/

振替口座 00140-5-12935

購読料年間25,000円(消費税別)

定量計量専用機

Pack NAVI

速くハカル、

楽にツメル



Yamato

大和製衡株式会社 tel:078-918-6577
http://www.yamato-scale.co.jp/

今週の主な記事

- 計量計測関連企業決算(第1四半期)、日・韓・中計量測定協力セミナー ①面
- NMI講演会、検則意見募集結果、計連研究会 ②面
- 寄稿・島田好昭 新井宏 ③面
- 特集・とつきょうの計量No.256 ④⑤⑧面
- 第67回計量士国家試験問題(1) ⑥面
- 寄稿・矢野耕也、社説 ⑦面
- 全国各地で政令改正説明会、とつきょうの計量(つぎ) ⑧面

計量計測関連企業決算

2018年3月第1四半期

計量計測関連企業の2018(平成30)年3月期決算の第1四半期が出揃った。決算概要は次のとおり。

島津製作所

島津製作所グループは、2017年4月から新たな3力年の中期経営計画をスタートさせ、「世界のパートナーと社会課題の解決に取り組む企業」を目指し、アドバンスト・ヘルスケアなど成長分野への投資、重点業種の競争力強化やAI・IoTを活用したアフターマーケット事業の拡大などによる収益力強化、また組織基盤変革など、成長に向けた施策を積極的に進めている。

当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高は758億3百万円(前年同期比8・7%増)となり、営業利益は38億84百万円(同13・8%減)、経常利益は35億93百万円(同13・5%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は24億28百万円(同21・3%減)となった。

なお、グループの売上高は、第2、第4四半期に集中する傾向にある。セグメントの状況はつぎのとおり。



TANITA デジタルスケール (TL-280) ¥33,000(税抜)

計測機器事業II日本では、機械・電機・製菓などの民生分野での活発な需要や官公需での大口案件をうけて、試験機・液体クロマトグラフ・ガスクロマトグラフ・質量分析装置・環境計測機器を中心に好調に推移した。その他のアジアでは、東南アジアで官公需が停滞したことなどにより全体としては売上は減少した。当事業の売上高は461億12百万円(前年同期比8・6%増)となった。

医用機器事業II日本では、X線撮影システムが診療所を中心に拡大し好調に推移した。北米では診療報酬改定によるデジタル化促進の追い風を捉え、X線撮影システムが大きく伸び、売上は増加した。東南アジアでもデジタル化対応のニーズを取り込むことでX線撮影システムが伸び、売上は増加した。一方、中国で

航空機器事業IIボーイング社の旅客機減産が影響し北米の売上は減少した。日本では、防衛省向け航空機搭載機器が増加し堅調に推移した。当事業の売上高は59億57百万円(前年同期比14・3%増)となった。

産業機器事業IIターボ分子ポンプは、日本・北米・中国での需要が回復し増加した。また油圧機器は、中国でのフォークリフトおよび建設機械市場の拡大により堅調に推移した。当事業の売上高は93億12百万円(前年同期比24・6%増)となった。

その他の事業II当事業の売上高は、11億87百万円(前年同期比31・6%減)となった。

夏季特集 第4集

は多目的のX線TVシステムが伸びたものの、X線撮影システムが国産品との競合により減少し、売上は微増にとどまった。欧州では、西欧の市況低迷も影響し厳しく推移した。当事業の売上高は132億32百万円(前年同期比3・0%増)となった。

米・中国および韓国で、半導体製造装置およびFPD製造装置向けを中心に拡大が持続した。ガラ

スワインターも、中国で電子基板・自動車・風力発電での需要が回復し増加した。また油圧機器は、

中国でのフォークリフトおよび建設機械市場の拡大により堅調に推移した。当事業の売上高は93億12百万円(前年同期比24・6%増)となった。

その他の事業II当事業の売上高は、11億87百万円(前年同期比31・6%減)となった。

(次号以下につづく)

日・韓・中計量測定協力セミナー

9月21日(木)、品川のきゅりあんで

「第11回日本・韓国・中国計量測定協力セミナー」が、9月21日(木)、東京品川区のきゅりあんで開催される。

このセミナーは日本・韓国・中国間における計量制度と校正制度等計量事情を理解し、計量測定機器の輸出入の促進等を図ることを目的とし

「第11回日本・韓国・中国計量測定協力セミナー」は、第11回目となる今年度は、9月21日(木)、東京品川区のきゅりあんで開催される。

学研究院(NIM)の研究紹介を中心に発表する。

【日時】9月21日(木)、10時～19時

【会場】きゅりあん(品川区立総合区民会館、東京都品川区東大井5-18-1、電話03-5447-9410)

【参加費】1万円(税込、パーティ費用含)／1人

【申込締切】9月8日(金)

【申込方法】申込書で電子メールまたはFAXで

【申込・問い合わせ先】(一社)日本計量機器工

日本は、経済産業省が計量制度の見直し、産業技術総合研究所は三次元計測を利用したデジタルエンジニアリングの新展開、日本の計量制度の見直しをうけての取り組みについて発表をする予定。

このセミナーは、日本、韓国、中国の計量制度に係る最新の情報収集を

業連合会(鈴木・芳川) 電話03-3268-2121、FAX03-3268-2167、電子メール:suzuki@kei-koren.or.jp、yoshika-wa@keikoren.or.jp

【プログラム】▽開会挨拶▽主催者挨拶▽日本の計量制度の見直し▽政省令改正の概要▽「韓国におけるスマートメーター化計画とその動向」▽「日本の計量制度の見直しをうけて」産業技術総合研究所の取り組み

▽「中国における法定計量活動の展開」▽「キロ

グラム再定義に関する研究の現状(KRIS、PTB、NPL)▽「中国における計量の学術交流と計測・試験技術の促進」▽「三次元計測を利用したデジタルエンジニアリングの新展開」▽「中国計量科学研究所(NIM)発展の紹介」▽「韓国におけるスマートメーター化計画とその動向」▽「日本の計量制度の見直しをうけて」産業技術総合研究所の取り組み

▽「中国における法定計量活動の展開」▽「キロ

「第11回日本・韓国・中国計量測定協力セミナー」は、第11回目となる今年度は、9月21日(木)、東京品川区のきゅりあんで開催される。

このセミナーは、日本、韓国、中国の計量制度に係る最新の情報収集を

業連合会(鈴木・芳川) 電話03-3268-2121、FAX03-3268-2167、電子メール:suzuki@kei-koren.or.jp、yoshika-wa@keikoren.or.jp

【プログラム】▽開会挨拶▽主催者挨拶▽日本の計量制度の見直し▽政省令改正の概要▽「韓国におけるスマートメーター化計画とその動向」▽「日本の計量制度の見直しをうけて」産業技術総合研究所の取り組み

▽「中国における法定計量活動の展開」▽「キロ

グラム再定義に関する研究の現状(KRIS、PTB、NPL)▽「中国における計量の学術交流と計測・試験技術の促進」▽「三次元計測を利用したデジタルエンジニアリングの新展開」▽「中国計量科学研究所(NIM)発展の紹介」▽「韓国におけるスマートメーター化計画とその動向」▽「日本の計量制度の見直しをうけて」産業技術総合研究所の取り組み

▽「中国における法定計量活動の展開」▽「キロ

ありそうでなかった防爆の新しいかたち。

株式会社 田中衡機工業所 URL http://www.tanaka-scale.co.jp/

本社・新潟支店 〒959-1145 新潟県三条市福島新田丙 2318-1 TEL: 0256-45-1251 FAX: 0256-45-2204
東京支店 〒101-0061 東京都千代田区三崎町 2-6-7 TEL: 03-3263-4531 FAX: 03-3262-6918
関西支店 〒564-0063 大阪府吹田市江坂町 2-13-2 TEL: 06-4861-2266 FAX: 06-4861-2277
東北営業所 〒983-0021 宮城県仙台市宮城野区田子 3-1-5 TEL: 022-388-6401 FAX: 022-388-6402
福岡営業所 〒816-0823 福岡県春日市若葉台西 6-4-7 TEL: 092-572-1822 FAX: 092-571-2462